



# 国際関係学科50周年記念事業 多文化・国際協力量科設立記念 シンポジウム

## 女性フィールドワーカーは語る

津田塾大学は長年、国際的に現場で活躍する人材や、フィールドワークを実践する研究者を輩出してきました。国際関係学科が50周年を迎え、またフィールドワークを軸に据えた多文化・国際協力量科を2019年に設置するにあたり、さまざまな分野でフィールドワークを実践してきた津田塾大学にゆかりのある女性研究者が自身の体験を語ります。

**日時: 2018年9月23日(日)14時～16時30分**

**会場: 津田塾大学 千駄ヶ谷キャンパス SA302教室**

**定員: 150名(参加費無料)**

### 講演:

**松山章子 (津田塾大学特任教授、多文化・国際協力量科専任教員(予定)):**  
東南アジア、バングラデシュ、ケニア等で調査研究を実施。国際保健(医療人類学)。  
津田塾大学学芸学部国際関係学科1982年卒業。

**中村香子 (東洋大学准教授):**  
アフリカ地域研究、文化人類学。津田塾大学学芸学部英文学科1988年卒業。

**木村真希子 (津田塾大学准教授、多文化・国際協力量科専任教員(予定)):**  
南アジア地域研究、国際社会学。

**若森参 (京都大学霊長類研究所研究員):**  
東南アジアの霊長類研究。津田塾大学学芸学部国際関係学科2012年卒業。

**司会: 三砂ちづる (津田塾大学教授、多文化・国際協力量科専任教員(予定))**

事前申込に  
ご協力下さい  
(当日参加も可)

件名を「9月23日シンポジウム申込(氏名)」としてmi-ic@tsuda.ac.jp または  
FAX (042-342-5156) で、お申込みください。

氏名(フリガナ)、住所、メールアドレス、電話番号、学校名等所属を明記して  
ください。(形式自由、書式はありません。)